

時は江戸。  
鼠小僧のあなたは今夜も懲りずにお屋敷から小判を盗み出すことに成功。  
意気揚々と屋根伝いに家路を急ぐ。しかしそこには岡っ引きの影が。

「こ、小判を貧しい家々に配っているのさ」との苦しい紛れの言い訳をつぶやきながら岡っ引きの網の目をくぐりつつ、せしめた小判を泣く泣く配って回ること。

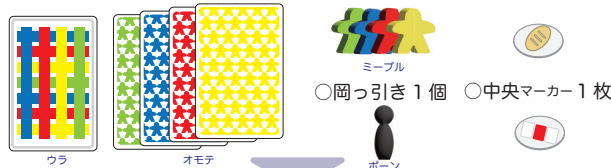
ふと顔を上げると偶然にも同じことを考えている鼠小僧が他にもちらほら。  
先に配りきらないと、あなたが岡っ引きに捕まってしまうぞ！急げっ！

## ■セット内容

○屋根カード 45 枚 (1-4: 40 枚、5: 5 枚) ○方角カード 5 枚 (東西南北中)



○順番カード 4 枚 (緑青赤黄) ○鼠小僧 4 個 ○小判チップ 30 枚



## 1. ゲームの目的

- 各ターンごとに手持ちの屋根カードを一齐に 1 枚ずつ出し、出した数字分屋根の上を移動しながら手持ちの小判を全て配りきることを目指す
- 最初に手持ちの小判を配り終えたプレイヤーが勝利しゲーム終了
- ゲーム終了時に他プレイヤーは保持している小判がマイナスポイントとなる

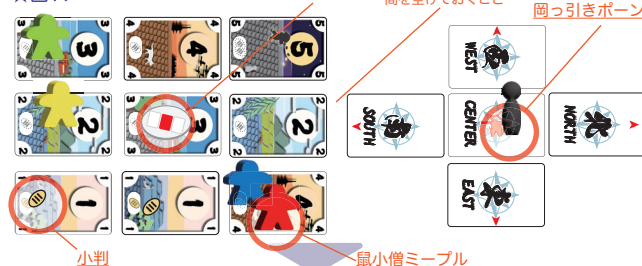
## 2. ゲームの準備

- 各メンバーに以下の屋根カードを配布 (1 人あたり合計 9 枚)
  - 1-4 カード: 1 人 2 枚ずつ 全 8 枚
  - 5 カード: 1 人 1 枚ずつ
- ※ 2 名プレイの場合のみ 1-5 カードを 2 枚ずつ全 10 枚配る
- 各メンバーに以下の小判チップを配布 (参加人数によって配布枚数が異なる)
  - 2 名: 1 人 9 枚ずつ
  - 3 名: 1 人 8 枚ずつ
  - 4 名: 1 人 7 枚ずつ
- 自分のカラーを選び、鼠小僧ミールと順番カードを受け取る (緑・青・赤・黄)

## 3. ラウンドの準備 (★図 A 参照)

- 場に各メンバーに配布した屋根カードと同じ 9 枚をシャッフルした上で、表向きに 3x3 で配置する
- 3x3 の中央の屋根カードの上に中央マーカーを置く
- 場の方角を決め、北の位置に方角カードを表向きにして十字に 5 枚配置する
- 岡っ引きポーンは方角カード「中」の上に置く
- 場に置かれた「1」の屋根には事前に場から 1 枚ずつ小判を置いておく
- 順番カードは自分の色を覚えておくために表にして各自の手元に置いておく
- それぞれが自分の鼠小僧ミールを場にある 3x3 の屋根カードの任意の場所に配置する (他人の配置を見て移動しても OK、複数人が同じ屋根に乗っても OK)
- みんなの配置場所が決まったらゲームスタート

## ★図 A



## 4. ゲームの流れ

- 1 ターンは「鼠小僧ターン」→「岡っ引きターン」という順番で実施する。これをゲーム終了まで繰り返す



### 鼠小僧ターン

↓ 以下グレー枠内のアクションを全てのプレイヤー分順番に実施し、鼠小僧ターン終了。次は岡っ引きターンへ。

### ○ 鼠小僧の動き

#### 1. プレイ順決定

- 掛け声に合わせて、各プレイヤーが同時に手札から 1 枚屋根カードを出す
- 屋根カードの数が「大きい」プレイヤーから順にプレイ
- 同じ数字を出したプレイヤーが複数人いた場合、該当するプレイヤーの順番カードをシャッフルしてめくった順番でプレイ順を決定する

#### 2. 鼠小僧移動 (★図 B 参照)

- 出した屋根カードの数字、縦横で屋根を移動 (斜めは NG)
- 同じ屋根を複数回通っても OK
- 通過 or 移動した屋根に小判がない場合、自分の小判を 1 枚置くことができる。なお、「5」の屋根のみ、特別に 2 枚の小判を置くことが可能
- 他のプレイヤーと同じ数のカードを出したプレイヤーは移動はできるが、そのターンでは小判を 1 枚も置くことはできない
- また、各鼠小僧の屋根移動と連動して岡っ引きの移動も行う (次の「岡っ引きの動き」の通り、鼠小僧と同時に移動させるので、他のプレイヤーが岡っ引きの移動を手伝ってあげましょう)

#### 3. 屋根配置

- 数字分移動後、出した屋根カードは場のいずれかのカードに隣接する形で 5x5 の範囲内の任意の場所に配置する (中央マーカーを目印に)
  - なお、5x5 に広がるまで他の屋根カードに重ねて置くことはできない
  - 5x5 (25 枚) まで広がった後は、自分以外の他のいずれかのプレイヤーの前後左右に接する既存の屋根カードと交換して自分の屋根カードを配置する
- この時、既存の屋根カードは取得し自分の手札とする。また、この時屋根に小判が置かれていた場合はその小判も取得する。
- 「1」の屋根のみ配置時に自分の小判を 1 枚上に乗せることができる

### ○ 岡っ引きの動き

#### 1. [鼠小僧: プレイ順決定中]

ここでは岡っ引きは何もせず、鼠小僧をじっと見張っている…

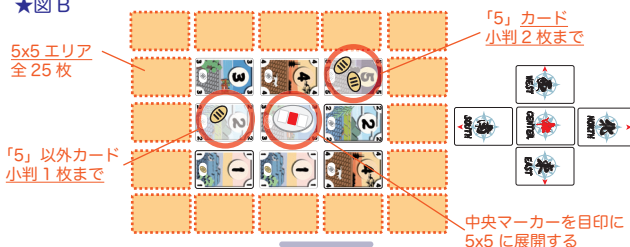
#### 2. [鼠小僧: 移動中] 岡っ引きも合わせて移動 (★図 C 参照)

- 鼠小僧が移動する時、岡っ引きも常に鼠小僧と同じ方向に同じ歩数分移動する
- この時鼠小僧と同じ方向に移動できない場合、岡っ引きはその場に留まる (例: 岡っ引きが「北」にいる時に、鼠小僧が東や西や北に一歩移動した場合など)
- 鼠小僧の人数分、鼠小僧移動の度に岡っ引きも一緒に移動する

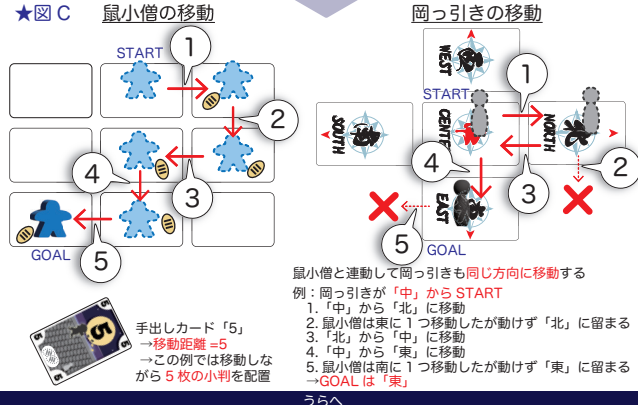
#### 3. [鼠小僧: 屋根配置中]

ここでは岡っ引きは何もせず、鼠小僧をじっと見張っている…

## ★図 B



## ★図 C



鼠小僧と連動して岡っ引きも同じ方向に移動する

例: 岡っ引きが「中」から START

1. 「中」から「北」に移動
2. 鼠小僧は東に 1 歩移動したが動けず「北」に留まる
3. 「北」から「中」に移動
4. 「中」から「東」に移動
5. 鼠小僧は南に 1 歩移動したが動けず「東」に留まる

GOAL は「東」

うらへ

- 「鼠小僧ターン」→「岡っ引きターン」を1ターンとし、勝敗がつくまでターンを繰り返し実施する

○ 手持ちの小判を全て配り終えたプレーヤー(=勝者)が出現したターン終了時にゲーム終了となる(小判を配り終えたターンで岡っ引きに見つかり小判を取得した場合、ゲームは終了せず続行となります)

- ゲーム終了時点で手元に残ってしまった小判枚数をマイナスポイントとしてカウントする
- 勝利したプレイヤーはマイナスポイントを0点としてカウントする

- 終了時に合計マイナスポイントの **1 番小さいプレーヤーが勝利**。  
マイナスポイントの小さい順に順位を決定する。
- ゲームを任意の回数分繰返し、総合計点で勝敗を競いましょう。

Q. 屋根カードが5x5に広がった後、他の鼠小僧ミープルの前後左右のカードにはいずれも小判が乗っています。どうすればよいですか？

A. その場合は屋根カードを入れ替えた上で、残念ですがその屋根に乗っている小判も取得する必要があります

A. はい、1 のカードはプレイする順番が一番最後に回つ引きをコントロールできますが、1 つしか移動できず使い方が難しいため、小判を置けるメリットがあります。1 のカードが重なった場合も移動時は小判は置けません、1 の屋根カードを置く時は小判を 1 枚置くことができます

なお、ゲーム開始時には 1 のカードに場から 1 枚ずつ小判を置いてスタートします

A. その通りです。ただ、そのために出すタイミングも重要ですし、場から交換して取得する際にも、小判が2枚乗っている可能性があるため注意してください。また、プレーする順番も数の大きい順になるため、岡っ引きにも十分に注意してください。

A. はい、その通りです。鼠小僧と岡っ引きの間に"より高い屋根"が無いと隠れることはできないため、「5」は最も高いので隠れることはできません。

A. 同じ屋根の上を複数回通ることは問題ありません。岡っ引きに見つかってしまわないよう、同じ屋根の移動もうまく利用しながら逃げ切ってください。

- 1から5の5枚の屋根カードを手札とし、残り40枚のカードをシャッフルしてピックアップした25枚を5x5の形で場に配置します
- 手持ち小判を25枚準備し、鼠小僧を任意の屋根カードの上に配置してスタート
- ターン毎に手札を1枚出し、その数分屋根の上を移動し小判を置いていきます
- 出したカードは場にある屋根カードの任意の1枚と交換します
- 「1」のカードを配置する際には小判を1枚棄せることが可能です
- 1人用プレイでは25の屋根すべてに小判を配置することが目的のため、「5」のカードに小判を2枚置く必要はありません
- 岡っ引きはルール通り移動し、毎ターン鼠小僧チェックを行います
- ゲーム開始時に「何ターンで25全ての屋根に小判を置くことができるか」を宣言しそれを達成できれば鼠小僧の勝利です（チャレンジ目標は **10ターン以内**）
- プレイ結果はかかったターン数を「**#Cobaan**」と共にSNSへ投稿しましょう！

日本では江戸時代、鼠小僧と呼ばれる大泥棒があり、大名屋敷ばかりを狙っては、その盗んだ物を貧しい人々に分け与えたという義賊伝説が語り継がれています。しかし、一説にはこれらの美談は後に歌舞伎などで作り上げられたフィクションであり、鼠小僧は単なる大泥棒だったという説が有力なようです。

本ゲームではこの背景を踏まえ、岡っ引きから逃げつつ、やむを得ず盗んだ小判を配る鼠小僧の悲哀を盛り込んでいます。ぜひ当時を思い浮かべながらお楽しみ下さい。

yolimits.com



←説明動画等はこちらのQRコードからご覧ください

誤飲の危険性がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。  
高温多湿の場所に放置しないでください。変質の恐れがあります。  
火に近づけないでください。変形・火災の原因になります。

★ 図 D



★ ☒ E



中央の屋根カードには誰も乗っていないため、中央の小判はそのまま残ります🍵

★ 图 F



中央のカードは東西南北からは隠れやすいが、岡っ引きが「中」からチェックする時はこの例のように大量の小判を取得するリスクがあるため、注意が必要です